

I

1 茅ヶ崎の概要

沿革

茅ヶ崎の歴史は古く、市北部の相模原台地南端に位置する小出地区から先土器時代の遺物が発見されたことで明らかのようにこの時代にさかのぼる。縄文時代・弥生時代と生活の場は台地から低地（砂丘）に向かって広がり、その後次第に集落が発展していった。近世には23の村があり、それらの村々は、明治元年(1868年)に神奈川県在所管となった。明治22年(1889年)の市制・町村制の実施によって23ヶ村は整理統合され、茅ヶ崎、鶴嶺、松林、小出の4ヶ村が生まれた。

当時の茅ヶ崎は湘南の一農漁村であったが、明治31年(1898年)に現在のJR茅ヶ崎駅が開業してからは、別荘の開発や結核療養施設南湖院の開院により、その名を広く世間に知られるようになった。

その後、明治41年(1908年)に小出村をのぞく3ヶ村が合併して茅ヶ崎町となり、第二次世界大戦後の昭和22年(1947年)10月1日(人口43,315人)には神奈川県下8番目の市として単独市制を施行した。さらに昭和30年(1955年)4月5日には、高座郡小出村のうち堤・芹沢・下寺尾・行谷を分村合併して、現在の市域が形成された。

昭和53年(1978年)に策定した総合計画では、「豊かな自然と人間環境を創造する市民のまち 茅ヶ崎」を、平成3年(1991年)度施行の新総合計画では、「自然と人がふれあう心豊かな快適都市 茅ヶ崎」を将来都市像としてまちづくりを進めてきた。そして、平成23年(2011年)4月から、「新しい公共の形成」「行政経営の展開」の2つの新しい基軸による行政運営と「海と太陽とみどりの中で ひとが輝き まちが輝く湘南・茅ヶ崎」を将来像とした新たな総合計画が施行された。

平成28年(2016年)4月1日現在の人口は239,476人、世帯数98,443世帯である。

一位置と地勢一

神奈川県の中南部、東経139度24分、北緯35度19分に位置し、東京から西に50kmあまり、東は藤沢市、西は相模川をはさんで平塚市、南は海岸線約6kmに及ぶ相模湾、そして北は寒川町と接している。面積は35.76km²、東西6.94km、南北7.60km、周囲30.46kmに及んでいる。

市域は海岸線から北部に広がっており、平野となだらかな丘陵となっている。海岸は、四季を問わず市民の憩いの場となっており、東に江の島、西に伊豆半島・富士・箱根の山なみを望むことができ、晴れた日は遠く伊豆の大島を望むことのできる景勝地である。

茅ヶ崎市：北緯35度19分・東経139度24分



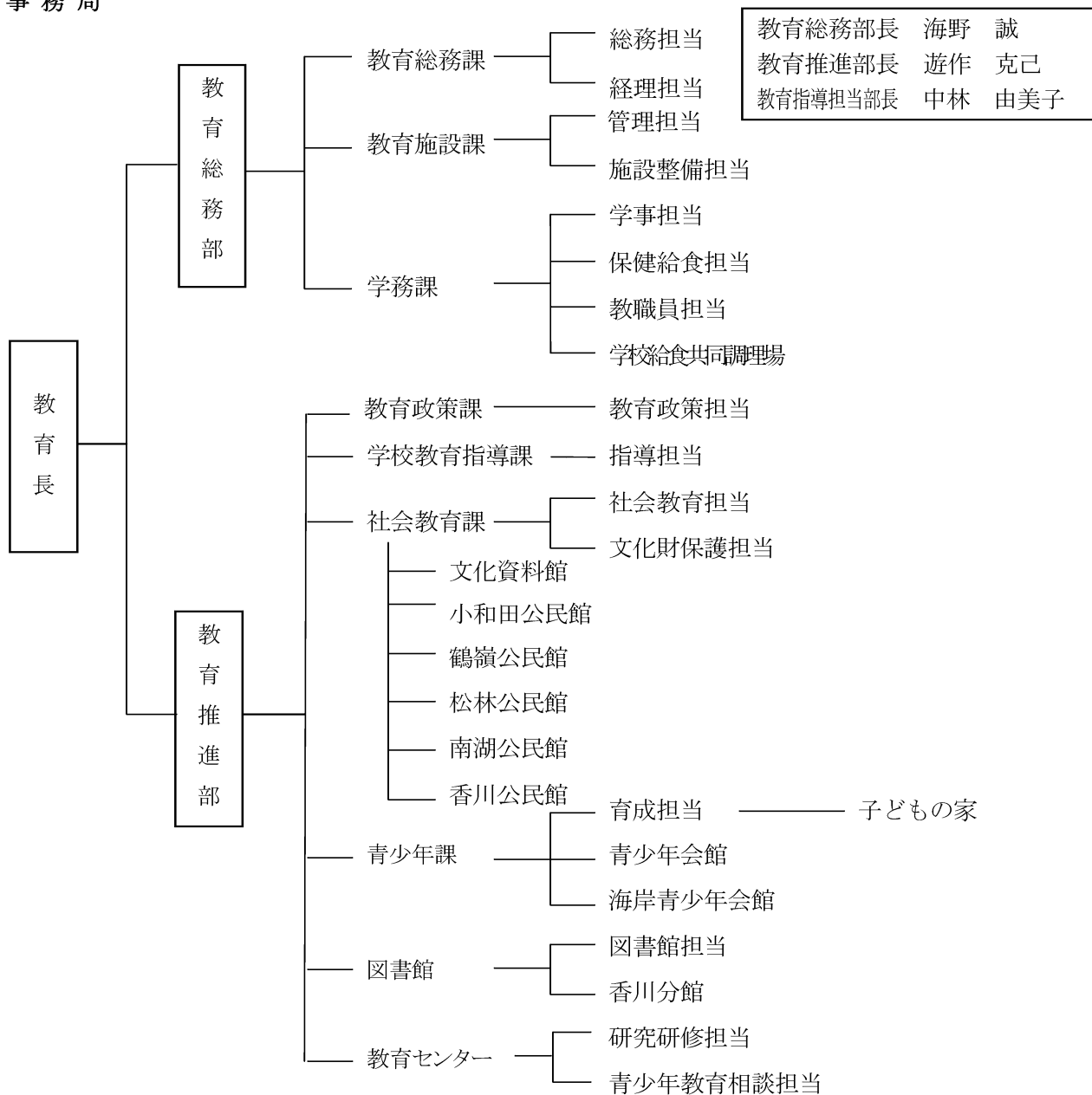
2 教育委員会の組織

(1) 教育委員会機構図 (平成28年4月1日現在)

教育委員

職名	氏名	任期
委員長	赤坂 雅裕	平成26.12.25～平成30.12.24
委員長職務代理者	城田 禎行	平成25.3.24～平成29.3.23
委員	豊嶋 常和	平成28.4.1～平成32.3.31
委員	本多 章子	平成26.10.1～平成30.9.30
教育長	神原 聡	平成24.10.12～平成28.10.11

事務局



学 校 小学校 (19校)
中学校 (13校)

(2) 社会教育課職員配置

(平成28年4月1日現在)

社会教育課長	飯田 直士	<鶴嶺公民館>	
史跡・文化資料館整備担当課長	石井 亨	担当課長兼館長	小川 剛志
<社会教育担当>		主任	永尾 真衣
課長補佐	鈴木 弘	主任	齋藤 景子
副主査 (社会教育主事)	高橋 知	主任 (再任用・社会教育主事)	加藤 正史
<文化財保護担当>		<松林公民館>	
課長補佐	白沢 礼子	担当課長兼館長	青木 聡
主査	岸 一弘	主任 (社会教育主事)	熊谷 健太
担当主査 (文化資料館勤務・学芸員)	須藤 格	主任 (再任用)	石井 利男
副主査	富岡 信朗	<南湖公民館>	
主事 (文化資料館勤務)	久保 有生	担当課長兼館長	佐藤 勇
主事	加藤 大二郎	主任	千色 出
主事	三谷 恭子	主任 (再任用)	秋元 国彦
主任 (再任用)	富永 富士雄	<香川公民館>	
主任 (再任用・社会教育主事)	大村 浩司	担当課長兼館長	白鳥 慶紀
<小和田公民館>		主事	志村 光一
担当課長兼館長	山田 佳世恵	主任 (再任用)	森 俊彦
主査 (社会教育主事)	神田 一明		
主任 (再任用)	高橋 敏夫		

(3) 事務分掌

社会教育課

・社会教育担当

- (1) 社会教育施策の企画及び調整に関すること。
- (2) 社会教育事業の実施に関すること。
- (3) 社会教育委員に関すること。
- (4) 社会教育関係団体の育成に関すること。
- (5) 公民館に関すること。

・文化財保護担当

- (1) 文化財保護に関すること。
- (2) 埋蔵文化財に関すること。
- (3) 文化資料館 (民俗資料館に限る。) の運営管理に関すること。

文化資料館

- (1) 文化資料館 (民俗資料館を除く。以下同じ。) の管理運営に関すること。
- (2) 文化資料館の事業に関すること。

公民館

- (1) 公民館の運営管理に関すること。
- (2) 公民館の事業に関すること。
- (3) 公民館運営審議会に関すること。
- (4) その他公民館活動に関すること。

3 平成28年度社会教育関係予算

(単位 千円)

項 目 節	当 初 予 算 額	説 明	
5 社会教育費	872,206		
1 社会教育総務費	443,458		
1 報 酬	2,317	10 職員給与費	440,408
2 給 料	216,797	20 一般管理経費	1,587
3 職員手当等	152,283	30 社会教育振興事業費	1,463
4 共 済 費	71,328		
8 報 償 費	395		
9 旅 費	39		
11 需 用 費	67		
12 役 務 費	9		
19 負担金補助 及び交付金	223		
2 文化財保護費	107,340		
1 報 酬	8,477	10 文化財保護管理経費	6,708
7 賃 金	3,653	20 文化財調査・普及事業費	295
8 報 償 費	708	30 埋蔵文化財事業費	3,268
9 旅 費	231	40 埋蔵文化財遺跡確認調査事業費	5,725
11 需 用 費	5,158	50 埋蔵文化財文化・スポーツ振興財団補助事業費	12,209
12 役 務 費	269	60 文化資料館運営経費	15,913
13 委 託 料	55,890	70 旧相模川橋脚整備事業費	747
14 使用料 及び賃借料	5,865	80 下寺尾七堂伽藍跡詳細確認調査事業費	2,867
16 原 材 料 費	5	90 ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業費	940
19 公有財産購入費	11,328		
19 負担金補助 及び交付金	15,756	100 埋蔵文化財保存活用事業費	4,375
		110 高座郡衙保存整備事業費	37,928
		120 文化資料館移転・整備事業費	13,125
		130 丸ごと博物館動画配信等事業費 (協働推進事業・行政提案型)	3,240
3 公民館費	76,493		
1 報 酬	31,115	10 公民館運営審議会委員経費	1,541
7 賃 金	6,325	20 業務管理経費	41,081
8 報 償 費	5,527	30 施設維持管理経費	24,171
9 旅 費	201	40 公民館活動費	7,171
11 需 用 費	18,333	50 公民館活動費 (協働推進事業・市民提案型)	2,529
12 役 務 費	965		
13 委 託 料	9,950		
14 使用料 及び賃借料	1,475		
19 負担金補助 及び交付金	2,602		
4 青少年対策費	68,409		
5 青少年施設費	38,870		
6 図書館費	137,636		